

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2005-245460(P2005-245460A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2005-118817(P2005-118817)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)配列番号：132に示されているアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項2】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)配列番号：131に示されているヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラ

ノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項3】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)配列番号：131に示されているヌクレオチド配列の完全長コード化配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項4】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)ATCC寄託番号203543で寄託されているDNAの完全長コード化配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項5】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)配列番号：132に示されているアミノ酸配列のシグナルペプチドを欠くものをコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項6】

以下の(a)又は(b)の単離された核酸：

(a)配列番号：132に示されているアミノ酸配列の、シグナルペプチドを有する細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項7】

以下の(a)又は(b)のヌクレオチド配列を有する単離された核酸：

(a)配列番号：132に示されているアミノ酸配列の、シグナルペプチドを欠く細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b)(a)のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項8】

配列番号：132に示されているアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項1に記載の単離された核酸。

【請求項9】

配列番号：131に示されているヌクレオチド配列を含んでなる、請求項2に記載の単離された核酸。

【請求項10】

配列番号：131に示されているヌクレオチド配列の完全長コード化配列を含んでなる

、請求項 3 に記載の単離された核酸。

【請求項 1 1】

A T C C 寄託番号 2 0 3 5 4 3 で寄託されている D N A の完全長コード化配列を含んでなる、請求項 4 に記載の単離された核酸。

【請求項 1 2】

配列番号 : 1 3 2 に示されているポリペプチドであって、そのシグナルペプチドを欠くものをコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 5 に記載の単離された核酸。

【請求項 1 3】

配列番号 : 1 3 2 に示されているアミノ酸配列の、シグナルペプチドを有する細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 6 に記載の単離された核酸。

【請求項 1 4】

配列番号 : 1 3 2 に示されているアミノ酸配列の、シグナルペプチドを欠く細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 7 に記載の単離された核酸。

【請求項 1 5】

請求項 1 ないし 1 4 の何れか 1 項の核酸を含んでなるベクター。

【請求項 1 6】

請求項 1 5 のベクターで形質転換された宿主細胞によって認識されるコントロール配列と、作用可能に連結した請求項 1 5 のベクター。

【請求項 1 7】

請求項 1 5 のベクターを含んでなる宿主細胞。

【請求項 1 8】

前記細胞が C H O 細胞である、請求項 1 7 の宿主細胞。

【請求項 1 9】

前記細胞が大腸菌である、請求項 1 7 の宿主細胞。

【請求項 2 0】

前記細胞が酵母菌である、請求項 1 7 の宿主細胞。

【請求項 2 1】

請求項 1 5 のベクターによってコードされているポリペプチドの発現に適した条件下で請求項 1 7 の宿主細胞を培養し、該細胞培養より前記ポリペプチドを回収することを含んでなる、前記ポリペプチドを産生させる方法。

【請求項 2 2】

以下の ( a ) 又は ( b ) の単離されたポリペプチド :

( a ) 配列番号 : 1 3 2 に示されているアミノ酸配列を有するポリペプチド ; 及び  
( b ) ( a ) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列であって、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチド。

【請求項 2 3】

以下の ( a ) 又は ( b ) の単離されたポリペプチド :

( a ) A T C C 寄託番号 2 0 3 5 4 3 で寄託された D N A の完全長コード化配列によってコードされているアミノ酸配列を有するポリペプチド ; 及び  
( b ) ( a ) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列であって、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチド。

【請求項 2 4】

以下の ( a ) 又は ( b ) の単離されたポリペプチド :

( a ) 配列番号 : 1 3 2 に示されているアミノ酸配列のシグナル配列を欠くアミノ酸配列を有するポリペプチド ; 及び

( b ) ( a ) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付

加されたアミノ酸配列であって、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチド。

【請求項 25】

以下の(a)又は(b)の単離されたポリペプチド:

(a) 配列番号: 132に示されているアミノ酸配列のシグナル配列を有する細胞外ドメインのアミノ酸配列を有するポリペプチド; 及び

(b) (a)のアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列であって、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチド。

【請求項 26】

以下の(a)又は(b)の単離されたポリペプチド:

(a) 配列番号: 132に示されているアミノ酸配列のシグナル配列を欠く細胞外ドメインのアミノ酸配列を有するポリペプチド; 及び

(b) (a)のアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列であって、かつ正常な食道及び皮膚と比べて食道腫瘍及びメラノーマ腫瘍において過剰発現し、正常な胃と比べて胃腫瘍において発現が減少しているポリペプチド。

【請求項 27】

配列番号: 132に示されているアミノ酸配列を含んでなる、請求項22に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 28】

ATCC寄託番号203543で寄託されているDNAの完全長コード化配列によってコードされているアミノ酸配列を含んでなる、請求項23に記載の単離された核酸。

【請求項 29】

配列番号: 132に示されているアミノ酸配列のシグナルペプチドを欠くものを含んでなる、請求項24に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 30】

配列番号: 132に示されているアミノ酸配列のシグナルペプチドを有する細胞外ドメインのアミノ酸配列を含んでなる、請求項25に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 31】

配列番号: 132に示されているアミノ酸配列のシグナルペプチドを欠く細胞外ドメインのアミノ酸配列を含んでなる、請求項26に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 32】

異種アミノ酸配列と融合した請求項22ないし31の何れか1項に記載のポリペプチドを含んでなる、キメラ分子。

【請求項 33】

前記異種アミノ酸配列がエピトープタグである、請求項32のキメラ分子。

【請求項 34】

前記異種アミノ酸配列が免疫グロブリンのFc領域である、請求項32のキメラ分子。

【請求項 35】

請求項22ないし31の何れか1項に記載のポリペプチドと特異的に結合する抗体。

【請求項 36】

前記抗体がモノクローナル抗体、ヒト化抗体、又は、一本鎖抗体である、請求項35の抗体。